

平成 29 年度 第 3 回大阪府立今宮高等学校 学校協議会 記録

日時：平成 30 年 3 月 6 日（火） 15：50～17：00

場所：本校 校長室

協議会委員（敬称略） 出席者

吉村 和彦	芦屋大学特任教授 元今宮高校校長
竹村 弘文	大阪市立木津中学校校長
山本 英夫	戎橋筋商店街振興組合 事務局
川島 経正	自彊会会長
西岡 大生	PTA 会長

1 校長挨拶

2 協議会委員および事務局員の紹介

3 事務局からの報告

① 保護者アンケートに意見について なし

② 授業アンケート（12 月実施）

教科ごとの 1 回目（7 月実施）と 2 回目（12 月実施）の比較。

*それぞれの項目で数値がアップしていた。

・ 9 項目で 1 回目と 2 回目の結果が 0.20 ポイント以上の上昇、

0.10◎、0.05○、-0.05▽、-0.10▼、-0.20▼▼ で改善の度合いを見比べた。

・生徒取組①「授業内容について、必要な予習や復習ができています」は評価が最も低い。学校全体 3.01

・生徒取組⑤「先生は教科書の他、役に立つプリントなどをうまく使っている」の評価が大幅に改善。

1 回目 (3.19) → 2 回目 (3.30) 授業改善（パッケージ研修）と関係はあるのでは。

・授業計画「毎時間、授業の目標や大切なポイントを説明してくれる」も評価が高い。3.36（前年 3.35）

・学年ごとに比較すると、1 年生は 2 回目の方が高くなっている。高校での授業で教員の授業の進め方に慣れてきたか。2 年生が「中だるみ」となり、評価が下がる学校が多い中、今宮高校は評価が上がっている。

③ 学校教育自己診断（12 月実施）

教員・生徒・保護者の比較

「今宮で学んでよかった」・・・保護者全体では 95%が肯定的回答（前年度 97%）

「総合学科らしさが感じられた」・・・保護者全体では 83%（前年度 94%）

「授業中、大きな声で発言」

・・・教員の感覚は 42%に対し、生徒 1 年 3 年で 60%前後の肯定的回答（前年度 50%）

「教員の授業の工夫」・・・87%（90%）の教員が「工夫している」と回答。

1, 2 年は 70～80%が「教員は工夫している」と回答。3 年生は大学入試問題中心の演習系科目が多いためか、85%（70%）程度にとどまった。工夫しにくいかも。

「科目選択の決定についてのガイダンスを十分に行った」・・・教員の 89%に対し

1 年生 85%、2 年生 73%、3 年生 72%、保護者には 66%であった。

生徒から保護者へ上手に伝えわる仕組みが必要だと感じた。

「授業中の ICT 活用」・・・教員：90%を越えるまで ICT が活用。

④ その他 3 年生に近畿の総合学科のアンケート結果（近畿総合学科 3 年生全員 1 万人弱）

4 つのグループわけての数値 A：大学進学 B：進学・就職 C：系列に特色 D：エンパワーメントスクール

*アンケートの際各学校の意思で、グループわけ。

◆総合学科で学んでよかった。A グループの中で一番

◆10 項目のうち 4 項目今宮がトップ。

◆平均値より低いのが 3 つ。今宮の課題なのでは。

⑤ H29 年度学校教育計画および学校評価（案）について

中期的目標・自己評価について

- ・保護者満足度 95% 好結果
- ・ICT 使用・充実 110 周年記念事業のおかげで全教室設置完了
- ・学習習慣 昨年度に比べあまり変化なし
- ・図書館の利用 夏場にエアコンの未稼働が影響
- ・校歌の機会を総務部中心に増やし、校歌が大きく歌えるようになった。
- ・今宮から留学生が 3 名（今までは受け入れる側だけだったが）
- ・センター試験受験者・センター試験で平均点以上の成績を獲得する生徒・・・H28 より減少
受験者 H27 137 名 H28 144 名、⇒ H29 138 名 平均点以上の獲得科目のべ人数 5.2%増
- ・英検に取り組んで 3 年目。2 級の受験(100 名)が増えたが、合格率は下がった。
- ・まとまった研修ができていなかったが、パッケージ研修をきっかけに少し改善。
- ・子どもの心身の相談 6 割行かなかったが 8 割に大きく改善。
- ・中学生の来校者数増 3,000 名超え(クラブフェスタ、オープンスクール、ソフトテニス大会(中学生)

***課題** → ・風通しのよい職員集団（ベテラン・中堅・若手） ・学習習慣の確立

⑥ H30 年度学校教育計画および学校評価（案）について

- ・今年度と大きくは変更していない。
- ・今宮ブランドの共有。
- ・概ね、今年の一学年生の大学入試変わることへの対応。(主体性評価など)

⑦ 生徒指導上の校則・内規について（文言修整等の確認）

- ・生徒懲戒内規の見直し 本校は「自主規制」で対応 校則はない
- ・服装自主規制の中に、頭髪についての記載あり

4 協議

【懲戒基準について】

- ・今宮高校の懲戒の対象になる生徒の人数は？ → あっても数名
- ・審査中の不正行為の基準。他校に比べると甘い。最低でも停学になるケース。
→不正行為の場合は全科目 0 点か？その科目のみ 0 点
大学の場合、全科目 0 点。進級に影響がでる。
- ・全科目 0 点にする学校は減ってきている。生徒指導と審査 0 点であれば重複した罰になる。
- ・懲戒事象があった場合、家庭と警察と学校が連携することで、本人のためになる。
→若い子どもに理解させる内容(指導)でなければならないの。
- ・学校は警察ではない。指導であることを忘れてはならない。

【頭髪について】

- ・本校では校則ではなく、自主規制で決められている。指導の方法としては自主規制の精神を「守ろう」という指導
- ・今回の府立高校の頭髪問題 府教委は、なぜそういう頭髪指導だったか内面をさぐることを考えてほしい
- ・荒れの時代には、ルールがどういふものかを教えるのが大事。中学では懲戒処分がないので。ほっとかれるほど寂しいものではないので、寄り添って指導。安全で安心のルール、4 段階（本人、保護者、自宅指導、外部機関との連携）で指導。内面から指導して行くことが大切では。
- ・校内暴力が吹き荒れていた時代を考えると、だいぶ落ち着いている。
- ・家庭が大変な場合もあり。

【ジェンダーフリーについて（制服について）】

- ・ジェンダーフリーの生徒に対しての対応はどうなっているか。
- ・大昔に標準服の変更を検討したときに、自彊会から反対を受けた。
- ・全国総合学科校長会では、女子のスカートと長ズボンを制服として準備している。
- ・最低限のルールを設けて、それを受け入れてもらえれば問題なしなのは。
- ・日本では「多様性」という点では世界にかなり遅れている。社会的な問題で、考えていかなければならない。
- ・今宮の生徒、女子は標準服着用が多いが男子は少ないような気がする。
- ・今宮でも多様な生き方を認める指導が大事（認め合う力）

5 事務連絡

◆学校運営協議会の設置

平成 30 年より全学校に「学校運営協議会」を設置（学校協議会から移行）

目的 学校運営や学校の課題に対して、より広く保護者や地域の住民の方々が学校運営に参画できる
（コミュニティ・スクールは学校運営協議会を設置した学校）

変更点

- ①法的根拠 地方教育行政の組織及び運営に関する法律・学校運営協議会の設置等に関する規則（新規策定）
- ②学校ごとに設置、但し、分校は本校とは別に設置できる。
- ③構成員 学校の運営に資する活動を行う者（同窓会、後援会、近隣の企業等）
- ④役割 校長に対していかんを述べる → +②基本的な方針の承認、③職員の任用に関して意見を述べる

*任期について 校長・准校長の推薦を受けて教育委員会が任命。任期は 2 年、再任は 2 回まで。年齢は原則 70 歳まで、兼務は 4 校まで。